

船橋市議会議員

たけ と

# ひいる健人

市議会レポート  
創刊号



発行：ひいる健人事務所 船橋市海神 4-5-6 Tel. 047-420-1800 FAX 047-420-1801

E-mail info@taketo2784.net http://www.taketo2784.net(活動ブログ更新中!)

## 6月議会 初の一般質問登壇

### 京成海神駅バリアフリー化など市執行部に質問！

去る6月14日(木)、改選後初の定例会となった平成19年度第2回定例会(6月議会)の一般質問において、初登壇をいたしました。選挙中より主張を行ってきました①京成海神駅バリアフリー化問題の進捗状況、②在宅で育児に取り組む世帯への子育て支援策拡充、③投票率の向上について の3点について市執行部に質しました。以下、その模様をお伝えします。

#### ★京成海神駅バリアフリー化問題の進捗状況・・・バリアフリー化工事には1億円強が必要

**Q. 日 色** 今回、選挙戦の中で最も多く地域の方からご要望をいただいた事項が、地元京成海神駅のバリアフリー化の問題であった。市と京成電鉄の間で、現在どのような話し合いがなされているのか。特に、海神駅利用者の高齢化、また船橋中央病院・海神公民館利用者の利便性に鑑みた交渉を行っているのかどうか、回答を求める。  
また、仮にバリアフリー化工事を行う場合、全体でどの程度の工事費がかかるものと考えられるのか。また、京成電鉄と関係機関の負担の枠組み・割合について、従来の例を元にしてそのあらましを回答願いたい。

**A. 企画部長** 鉄道駅のバリアフリー化については、交通バリアフリー法にもとづき、平成22年までに一日の平均利用者数が5000人以上の駅に対しバリアフリー化を達成すべく計画を進めている。京成海神駅については一日の平均利用者数が4520人であり、京成電鉄では5000人以上の駅の整備に目処が立った段階で計画を立てたいとの方針を示しているが、市としても海神駅の現状等について説明を行っていき、早期の対応を要請してまいりたいと考えている。  
工事費について、現地調査等を行わない限り算出は困難であるが、参考までにエレベーター2基とスロープの設置を行う場合、類似駅の例から推測すると少なくとも1億円強が必要になるものと考えられる。費用負担については、原則として国と市が協調して3分の1ずつを補助金として交付し、残りの3分の1を事業者が負担している。

#### ★在宅で育児に取り組む世帯への支援策拡充について・・・本中山児童ホームを「子育て拠点施設」に！

**Q. 日 色** 船橋市の保育関連予算のうち、保育所入所児童6,800人に対しては一人当たり140万円の予算が投じられているのに対し、在宅児童15,300名に対しては一人当たり2万7千円程度しか配分されていない。あえて誤解を恐れずに言えば、保育所に入所できた児童とそうでない児童との間に、大きな社会的不公平、格差が生じているのではないかと懸念されている。この不均衡の改善も踏まえ、在宅で育児に取り組む世帯への支援について、現在実施されている具体的な事業の拡充も含めて、担当部の所見を求める。あわせて、現在建設中である(仮称)本中山児童ホームについて、就学前児童への対応を重点においた設計・運営が必要と考えるが、どうか。

**A. 子育て支援部長** 子育て支援センター、ファミリーサポート事業、一時保育、児童ホームの運営など、より多くの方が利用できるような工夫を凝らした事業の実施に取り組んでいく。本中山児童ホームについては平成20年4月の開館を予定しているが、広めのロビーを設置するなど子育て中の親子が気軽に集えるような設計となっている。また、保育士などの有資格者を配置し一年を通じて子育て支援事業を充実させ、地域の子育て拠点施設として機能することとしている。

#### ★投票率の向上について・・・若い世代の投票率向上なしに健全な民主主義社会の実現なし！

**Q. 日 色** 先の統一地方選挙における各世代別投票率の調査結果、および期日前投票の割合は。また、若い世代への投票参加への啓発について、これまでどのように取り組んできたか、および7月の参議院議員選挙に向けてどのような啓発活動を行う予定か。

**A. 選挙管理委員会事務局長** 4月8日の千葉県議会議員選挙における標準的な投票区の調査結果は次の通り。

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	平均
20.26%	27.06%	37.76%	47.14%	55.98%	63.58%	45.26%	41.16%

また、期日前投票の割合は全体の約1割である。若い世代への啓発活動は各選挙管理委員会でも苦慮しているところであるが、保育園・学校での児童生徒を通じ、若い親世代への啓発として給食献立表への投票日掲載やぬり絵の配布、展示、校内放送の活用を行った。参議院議員選挙においても同様の啓発活動を予定している。

**Q. 日 色** 若い世代に投票行動を促し、より正確な民意の形成をはかることは、不毛な世代間闘争を未然に防止する観点からも非常に重要だ。その意味で、担当部局による啓発活動の重要性を改めて訴える。今後とも若い世代に向けて、インターネット等ITの活用など創意工夫を持って啓発活動に当たっていただくほか、期日前投票制度の一層の周知徹底を図るなど、投票率向上に重ねてのご努力を賜りたい。